



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 日油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4403 URL <https://www.nof.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮道 建臣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森 知明 TEL 03-5424-6600
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	157,813	13.2	30,261	5.7	32,517	8.2	25,851	21.7
2022年3月期第3四半期	139,394	15.4	28,636	59.8	30,049	54.9	21,245	32.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 24,295百万円 (4.4%) 2022年3月期第3四半期 23,281百万円 (5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	316.68	—
2022年3月期第3四半期	257.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	301,016	233,295	77.2
2022年3月期	289,630	221,706	76.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 232,481百万円 2022年3月期 220,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	43.00	—	47.00	90.00
2023年3月期	—	50.00	—		
2023年3月期（予想）				54.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	14.2	39,000	9.6	41,400	10.0	32,300	21.0	396.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	82,841,376株	2022年3月期	82,841,376株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,629,640株	2022年3月期	731,913株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	81,631,592株	2022年3月期3Q	82,486,456株

(注) 当社は、2020年3月期より「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日までの9ヵ月間)は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進む国や地域を中心に、各種制限の緩和と経済活動の正常化が進む一方で、中国のゼロコロナ政策の動向、ウクライナ危機の深刻化や資源・エネルギー価格の高騰、世界的なインフレの進行、各国の金融引き締め等による景気の下振れが懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。国内においては、社会経済活動の正常化が進むなかで、個人消費や設備投資、生産活動等に持ち直しの動きがみられました。

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な原燃料価格の高騰、半導体供給不足の継続、ウクライナ危機等の地政学的リスクが懸念される状況が継続しましたが、全般に国内外の需要は堅調に推移しました。

このような事業環境下、当社グループは2022年度を最終年度とする3ヵ年計画「2022中期経営計画」において、「挑戦と協創」を基本方針として掲げ、課題である「成長市場への事業拡大」「新製品・新技術開発の加速」「社内外との連携強化」「生産性の向上」「CSR活動の推進」に取り組み、新市場開拓と拡販ならびに生産コストの低減に努める一方で適正価格の維持に注力し、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、157,813百万円と前年同期比13.2%の増収となりました。営業利益は、30,261百万円と前年同期比5.7%の増益、経常利益は、32,517百万円と前年同期比8.2%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、25,851百万円と前年同期比21.7%の増益となりました。

以下、各事業セグメントの概況についてご説明申し上げます。

①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、環境エネルギー関連の需要が堅調に推移するとともに、原燃料価格高騰を受け販売価格を改定し、売上高は増加しました。

界面活性剤は、トイレタリー関連の需要が好調に推移し、売上高は増加しました。

エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体は、トイレタリー関連、合成樹脂・樹脂加工や塗料向けの需要が堅調に推移するとともに、原燃料価格高騰を受け販売価格を改定し、売上高は増加しました。

有機過酸化物は、国内およびアジアでの需要が堅調に推移するとともに、原燃料価格高騰を受け販売価格を改定し、売上高は増加しました。

特殊防錆処理剤は、海外向け自動車関連の需要が回復し、売上高は増加しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、108,830百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は、18,149百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製菓・製パン用機能性油脂の需要が落ち着いたものの、原燃料価格高騰を受け販売価格を改定し、売上高は増加しました。

機能食品関連製品は、健康食品向けの出荷が減少し、売上高は減少しました。

生体適合性素材は、MPC(2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン)関連製品の需要が好調に推移し、売上高は増加しました。

DDS(ドラッグ・デリバリー・システム:薬物送達システム)医薬用製剤原料は、欧米への出荷が好調で、売上高は増加しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、31,128百万円(前年同期比17.9%増)、営業利益は、13,762百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

③化薬事業

産業用爆薬類は、売上高は減少しました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が増え、売上高は増加しました。

防衛関連製品は、売上高は増加しました。

機能製品は、売上高は減少しました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、17,455百万円(前年同期比0.5%減)、営業損失は、125百万円となりました。

④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、399百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は、204百万円(前年同期比18.0%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ11,385百万円増加し、301,016百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の減少2,288百万円、棚卸資産の増加15,078百万円、売上債権の増加2,935百万円等であります。

負債は、前期末に比べ204百万円減少し、67,720百万円となりました。

負債の増減の主な内容は、買入債務の増加2,467百万円、有利子負債の減少549百万円、法人税等の納付による未払法人税等の減少309百万円、賞与引当金の減少1,641百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ11,589百万円増加し、233,295百万円となりました。

純資産の増減の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益25,851百万円、為替換算調整勘定の増加3,052百万円、剰余金の配当による減少7,943百万円、自己株式の取得等による減少4,603百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年11月2日に公表しました業績予想の修正に関するお知らせに記載いたしました内容と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,430	83,141
受取手形、売掛金及び契約資産	42,424	44,486
電子記録債権	2,813	3,686
商品及び製品	25,655	34,565
仕掛品	1,693	4,698
原材料及び貯蔵品	12,552	15,717
その他	2,937	3,545
貸倒引当金	△185	△200
流動資産合計	173,322	189,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,013	23,295
土地	20,706	20,826
その他（純額）	17,225	18,838
有形固定資産合計	61,944	62,960
無形固定資産		
その他	947	1,121
無形固定資産合計	947	1,121
投資その他の資産		
投資有価証券	47,812	41,071
退職給付に係る資産	3,148	3,240
その他	2,508	3,044
貸倒引当金	△53	△63
投資その他の資産合計	53,416	47,292
固定資産合計	116,308	111,374
資産合計	289,630	301,016
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,262	23,196
電子記録債務	584	1,118
短期借入金	1,997	2,016
1年内返済予定の長期借入金	2,800	150
未払法人税等	5,879	5,569
賞与引当金	3,473	1,832
その他	14,471	16,322
流動負債合計	50,468	50,206
固定負債		
長期借入金	610	2,779
退職給付に係る負債	4,992	5,022
その他	11,852	9,712
固定負債合計	17,455	17,514
負債合計	67,924	67,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,115	15,053
利益剰余金	166,062	183,952
自己株式	△3,292	△7,895
株主資本合計	195,627	208,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,226	19,480
為替換算調整勘定	809	3,861
退職給付に係る調整累計額	264	285
その他の包括利益累計額合計	25,300	23,628
非支配株主持分	777	814
純資産合計	221,706	233,295
負債純資産合計	289,630	301,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	139,394	157,813
売上原価	86,371	101,609
売上総利益	53,022	56,203
販売費及び一般管理費	24,386	25,941
営業利益	28,636	30,261
営業外収益		
受取利息	88	116
受取配当金	956	1,155
為替差益	207	759
その他	528	476
営業外収益合計	1,781	2,507
営業外費用		
支払利息	42	50
不動産賃貸費用	57	59
固定資産撤去費用	131	61
その他	137	81
営業外費用合計	368	251
経常利益	30,049	32,517
特別利益		
固定資産売却益	1,148	6
投資有価証券売却益	25	4,259
抱合せ株式消滅差益	—	34
特別利益合計	1,173	4,301
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	35	15
固定資産圧縮損	697	—
投資有価証券売却損	42	0
特別損失合計	775	16
税金等調整前四半期純利益	30,447	36,802
法人税等	9,181	10,939
四半期純利益	21,266	25,863
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,245	25,851

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	21,266	25,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	819	△4,745
為替換算調整勘定	1,151	3,156
退職給付に係る調整額	44	20
その他の包括利益合計	2,015	△1,568
四半期包括利益	23,281	24,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,248	24,178
非支配株主に係る四半期包括利益	32	116

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

（追加情報）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能化学 品事業	ライフサイ エンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	95,098	26,382	17,546	139,026	368	139,394	—	139,394
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,107	5,780	10	6,899	6,244	13,143	△13,143	—
計	96,206	32,162	17,557	145,925	6,612	152,538	△13,143	139,394
セグメント利益	16,980	12,066	843	29,890	250	30,141	△1,504	28,636

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,504百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,515百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能化学 品事業	ライフサイ エンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	108,830	31,128	17,455	157,414	399	157,813	—	157,813
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,098	5,946	11	7,056	6,124	13,181	△13,181	—
計	109,929	37,074	17,467	164,470	6,523	170,994	△13,181	157,813
セグメント利益又は 損失(△)	18,149	13,762	△125	31,786	204	31,991	△1,729	30,261

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,729百万円には、セグメント間取引消去△153百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,576百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2023年2月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため。

2. 取得に係る取締役会の決議内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	900,000株（上限）
(3) 株式の取得価額の総額	4,000,000,000円（上限）
(4) 取得期間	2023年2月9日より2023年6月30日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付け